

大豆の品質基準を目揃え

当JA管内で大豆の収穫や乾燥調製作業が進められています。今年度の「リュウホウ」の栽培面積は924ヘクタールに上り、刈り取り作業は10月中旬から始まりました。

出荷の最盛期を目前に控えた10月26日(水)、検査の目揃え会が椿川低温倉庫で行われました。円滑に品質検査を行うため、検査業務を担う当JAの職員が実際に生産者から出荷された「リュウホウ」の粒の大きさや形、被害粒の程度などを観察し、「この大豆は何等に格付けするか」「格付け理由は何になるか」などと話し合いました。管内の収穫作業の進捗や病害虫被害の発生状況などの情報も共有しました。

大豆を見比べて品質基準を確かめる検査員



園児へハロウィーンのお菓子をプレゼント

ハロウィーンの10月31日(月)、JA秋田なまはげ会館の隣のやどめ保育園の園児が秋田市中心部を練り歩き、地域の人々と交流を深めました。アニメやゲームのキャラクター、ヒーローやおぼけなどに仮装した子どもたちは、秋田市中通にある仲小路の各店で、店員からお菓子をもらいました。帰り道にJA秋田なまはげ会館の前を通りかかった子どもたちに、当JAからもお菓子を贈りました。吉田文勝副組合長や職員から笑顔で受け取った園児からは、「ありがとうすごいです！」と元気なお礼をいただきました。

同保育園とは避難訓練場所の提供などを通して、毎年交流しています。

お菓子を受け取る子どもたち



NEWS & TOPICS

花の祭典で管内生産者が入賞

11月12日(土)と13日(日)、第43回秋田県花の祭典が秋田拠点センターアルヴェで開かれ、県内産の花きやフラワーアレンジメントが会場を鮮やかに彩りました。3年ぶりの開催に多くの人が訪れ、色とりどりの花の展示や寄せ植えの体験講座、特別販売コーナーなどを楽しみました。

花き品評会では当JA管内の生産者が手塩にかけた花きが多く並び、来場者の注目を集めました。また、左記の5名の花きが入賞を果たしました。

- 1 伊藤錚悦さんのダリア「NAMAH AGEパール」(秋田県知事賞)
- 2 杉山正彦さんのダリア「ミツチャン」(秋田市長賞)
- 3 古屋久勝さんのダリア「シャイニーオレンジ」(秋田市議会議長賞)
- 4 安田善八さんの輪菊「精の一世」(全秋田県本部長賞)
- 5 福原健さんのデイスバッドマム「ロサーノシャルロッテ」(秋田県農業共済組合長賞)

